

「山田錦」に栽培基準

県内農家が協議会 酒米、品質を向上

新潟県のコメ農家で構

成する山田錦協議会が26

日、発足した。酒造好適

米の一種である山田錦を

栽培する。これまで個別

に農家が集まり栽培会と

して活動してきたが、協

議会は栽培基準を設け、

品質を一段と高める。約

80の個人農家や農業法人

が参加し、2015年産

で600トの生産を目指す

す。産地間競争が激化す

る中、県内農家が協力し

てブランド化を目指す。

同日、見附市内で協議

会設立の会合を開いた。

県内の農業関係者約70人

が集まり、専門家が良質

な山田錦を栽培する方法

について説明した。協議

会は肥料の管理や酒米の

乾燥など栽培基準を統一

する。他県に向いて山

田錦の栽培方法を学ぶ現

地研修会も開く予定だ。

基準を設け、良質な酒米

を安定して生産する。

山田錦はこれまで、主

に西日本で栽培されるこ

とが多かった。ただ近年

は酒米を多く使う高級酒

の人気を背景に山田錦の

需要が伸びており、新潟

県でも一部の農家が栽培

に着手した。協議会で栽

培した山田錦は、日本酒

「瀬祭(だっさい)」で

有名な山口県岩国市の旭

酒造に販売する予定だ。